

令和5年(2023)11月 入域観光客数概況(確定版)

68万8,200人

対前年(R4)同月比 +7万3,200人、+11.9%

～11月としては復帰後4番目、対前年同月比で24ヶ月連続の増加～

※(R元年度)同月比 ▲11万1,000人、▲13.9%

【更新履歴】①令和5年12月25日速報版公表

②令和6年2月26日確定版公表

※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、2月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を3枚目に追加しています。

※ 外国人観光客数の確定値については、国別内訳集計時における四捨五入の関係で、速報版とは一致しません。

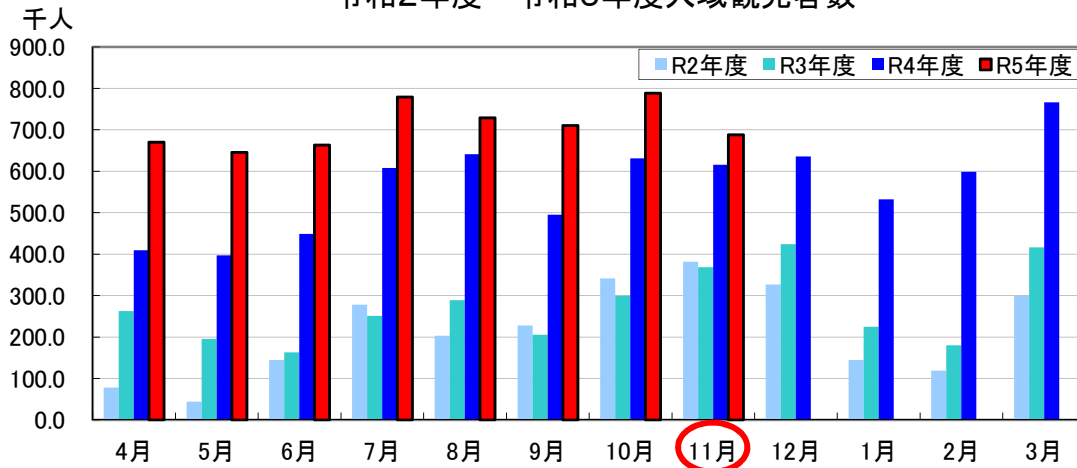
入域状況

入域観光客数(令和4年度との比較)

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
国内客	597,100人	602,900人	△5,800人	△1.0%	86.8%
外国客	91,100人	12,100人	+79,000人	+652.9%	13.2%
合計	688,200人	615,000人	+73,200人	+11.9%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等4,200人を含む。

令和2年度～令和5年度入域観光客数



国内客 入域状況

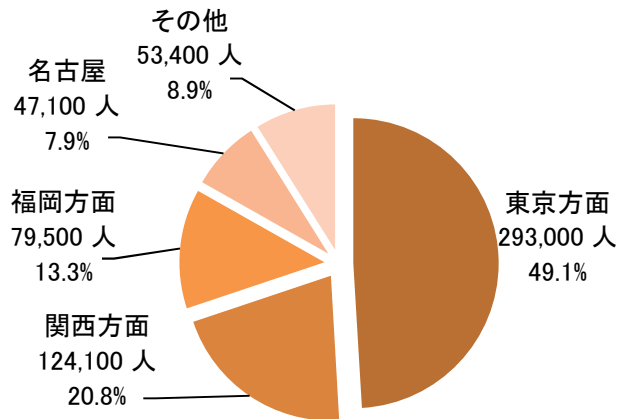
11月は、修学旅行の最盛期となることや、沖縄大交易会2023、ツール・ド・おきなわ等の開催があったものの、昨年、高い割引率で実施された全国旅行支援(第1期(10/11～12/27))の反動等により、前年同月をわずかに下回った(△1.0%)。また、令和元年同月に対しても、わずかに下回った(△0.5%)。

国内客 地域別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	293,000 人	297,000 人	△ 4,000 人	△ 1.3%	49.1%
関西方面	124,100 人	127,900 人	△ 3,800 人	△ 3.0%	20.8%
福岡方面	79,500 人	75,900 人	+ 3,600 人	+ 4.7%	13.3%
名古屋	47,100 人	53,300 人	△ 6,200 人	△ 11.6%	7.9%
その他	53,400 人	48,800 人	+ 4,600 人	+ 9.4%	8.9%
合計	597,100 人	602,900 人	△ 5,800 人	△ 1.0%	100.0%

※国内海路客1,700人含む。

国内客の地域構成比



各方面ごとの概況と見通し

東京

11月は、修学旅行の最盛期となることや、沖縄大交易会2023、ツール・ド・おきなわ等の開催があったものの、昨年の全国旅行支援の反動等により、前年同月を下回った。また、令和元年同月に対しては上回った。

関西

11月は、修学旅行の最盛期となることや、沖縄大交易会2023、ツール・ド・おきなわ等の開催があったものの、昨年の全国旅行支援の反動等により、前年同月を下回った。また、令和元年同月に対しては上回った。

福岡

11月は、修学旅行の最盛期となることや、沖縄大交易会2023、ツール・ド・おきなわ等の開催により、前年同月及び令和元年同月を上回った。

名古屋

11月は、修学旅行の最盛期となることや、沖縄大交易会2023、ツール・ド・おきなわ等の開催があったものの、昨年の全国旅行支援の反動等により、前年同月を下回った。

外国客 入域状況

11月は、月末にジェットスターの那覇ーシンガポール便が再開したものの、9月、10月のようなアジア諸国の大型連休がなかったこと、冬場に入り大型クルーズ船の寄港が減ったこと等から、段階的な回復が続いていた9月、10月を下回った。

12月以降について、一時運休していた那覇ー北京便が再開(12/23～)したほか、1月には那覇ー高雄(台湾)便の再開や那覇ー台北便、那覇ー上海便の増便など航空路線の回復がさらに進んだこと、クリスマス休暇、年末年始、春節等による旅行需要が期待できることから、回復基調が続くものと見込まれる。

- トピック**
- ▶ クルーズ船の寄港は12月をボトムに1月から再び増加。基隆や香港発の大型クルーズ船が複数回寄港するほか、中国初の国産大型クルーズ船「アドラ・マジックシティ」(上海発着)が1月1回、2月2回寄港予定。
 - ▶ 【台湾・韓国】台湾、韓国の旅行社においてプロ野球キャンプ見学ツアー商品が販売(台湾からは石垣市、韓国からは恩納村、うるま市等のツアー)。
 - ▶ 【タイ】タイ・エアアジアによる那覇ーバンコク便の新規就航(4/2～)が公表される。県シンガポール事務所ではFAMツアー(旅行社、メディア向けモニターツアー)を実施。

外国客 国籍別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
台湾	34,300人	5,900人	+28,400人	+481.4%	37.7%
韓国	24,400人	0人	+24,400人	皆増	26.8%
中国本土	6,400人	0人	+6,400人	皆増	7.0%
香港	10,800人	5,400人	+5,400人	+100.0%	11.9%
アメリカ	3,800人	300人	+3,500人	+1166.7%	4.2%
タイ	300人	0人	+300人	皆増	0.3%
シンガポール	800人	0人	+800人	皆増	0.9%
その他	10,300人	500人	+9,800人	+1960.0%	11.3%
合計	91,100人	12,100人	+79,000人	+652.9%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等4,200人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R5年度	R4年度	増減率	構成比	R5年度	R4年度	増減率	構成比
台湾	34,300人	5,900人	+481.4%	44.3%	0人	0人	—	0.0%
韓国	24,400人	0人	皆増	31.5%	0人	0人	—	0.0%
中国本土	2,200人	0人	皆増	2.8%	4,200人	0人	皆増	30.9%
香港	10,700人	5,400人	+98.1%	13.8%	100人	0人	皆増	0.7%
アメリカ	1,600人	300人	+433.3%	2.1%	2,200人	0人	皆増	16.2%
タイ	300人	0人	皆増	0.4%	0人	0人	—	0.0%
シンガポール	800人	0人	皆増	1.0%	0人	0人	—	0.0%
その他	3,200人	500人	+540.0%	4.1%	7,100人	0人	皆増	52.2%
合計	77,500人	12,100人	+540.5%	100.0%	13,600人	0人	皆増	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等4,200人を含む。

外国客の地域構成比

